



## 2022年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年1月13日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL <https://www.moresco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 両角 元寿  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 (氏名) 藤本 博文 TEL 078-303-9220  
 四半期報告書提出予定日 2022年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年2月期第3四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	20,415	13.6	1,375	114.5	1,732	164.0	1,730	470.7
2021年2月期第3四半期	17,968	△12.1	641	△40.7	656	△45.8	303	△49.9

(注) 包括利益 2022年2月期第3四半期 2,342百万円 (—%) 2021年2月期第3四半期 90百万円 (△83.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	184.52	—
2021年2月期第3四半期	31.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第3四半期	28,223	20,046	62.3	1,874.85
2021年2月期	27,707	18,163	57.4	1,695.81

(参考) 自己資本 2022年2月期第3四半期 17,586百万円 2021年2月期 15,899百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	15.00	—	25.00	40.00
2022年2月期	—	20.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,870	9.8	1,560	85.2	1,900	84.6	1,670	222.5	178.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	9,696,500株	2021年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	316,570株	2021年2月期	321,070株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	9,378,048株	2021年2月期3Q	9,602,409株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

2022年1月19日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報) .....	7
3. 補足情報 .....	8
(1) 製品およびサービスに関する情報 .....	8
(2) 海外売上高 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、度重なる緊急事態宣言の発出による消費低迷と部品や原材料の供給制約問題により、一進一退の状況で推移しました。足元、活動制限の緩和を背景に経済は回復の基調にあるものの、先行きは依然不透明な状況です。海外経済についても、全体的には回復基調にあるものの、米国金融政策の引き締め方向への転換、中国での債務・エネルギー問題に端を発する景気減速懸念等により、先行きを見通すことは困難な状況です。また、国内外における原材料価格の上昇は製造業の収益を圧迫しつつあります。

このような状況のもと当社グループにおいては、各国での自動車生産の回復等を背景に、売上高は20,415百万円（前年同期比13.6%増）となり、営業利益は1,375百万円（前年同期比114.5%増）、更には為替が差益に転じたことにより経常利益は1,732百万円（前年同期比164.0%増）となりました。また、賃貸用不動産の売却益を特別利益に計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,730百万円（前年同期比470.7%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### ①日本

##### (特殊潤滑油)

国内自動車生産は半導体の供給不足が足かせとなり、8月以降は前年同月比減少に転じたことにより、前年同期並みの水準にとどまりました。このような状況の中、潤滑油製品全般で売上は増加しました。中でも顧客での生産性向上に資する少量塗布型ダイカスト離型剤や新規拡販に注力している切削油剤の売上が順調に推移しました。

##### (合成潤滑油)

国内自動車生産の回復と旺盛な中国需要を背景に、グリース基油用途での高温用潤滑油が増収となりました。一方、ハードディスク表面潤滑剤については、中期的にはデータセンター用途でのHDD（ハードディスクドライブ）需要の増加が見込まれるものの、足元ではパーソナルコンピュータ分野でのSSD（ソリッドステートドライブ）への置換の影響を受け、減収となりました。

##### (素材)

流動パラフィン、ポリスチレン可塑剤および化粧品用途が増収となった一方で、採算性を踏まえて一部取引の見直しを行ったことにより減収となりました。

スルホネートは、金属加工油添加剤用途での出荷の回復により増収となりました。

##### (ホットメルト接着剤)

フィルター用途が増収となった一方で、主力の衛材用途が前年同期比微減で推移したことにより、ホットメルト接着剤の売上は前年同期並みの実績となりました。

##### (エネルギーデバイス材料)

有機EL用封止材の輸出とガス・水蒸気透過度測定装置の販売および受託分析が好調に推移したことにより増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は14,875百万円（前年同期比10.3%増）となり、セグメント利益は837百万円（前年同期比119.6%増）となりました。

#### ②中国

半導体や電力の供給不足の影響により鈍化傾向にあるものの、自動車生産は一昨年の実績並みの水準で推移しました。このような状況の中、潤滑油製品全般で売上は増加しました。注力製品である少量塗布型ダイカスト離型剤の拡販も順調に推移しました。ホットメルト接着剤は前年同期並みの実績となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2,857百万円（前年同期比25.9%増）となり、セグメント利益は327百万円（前年同期比51.8%増）となりました。

#### ③東南／南アジア

他の地域に比べ経済回復が遅れがみられた当地域についても、自動車生産が増加したことにより、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は増収となりました。ホットメルト接着剤は前年同期並みの実績となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3,544百万円（前年同期比32.1%増）となり、セグメント利益は102百万円（前年同期は3百万円の利益）となりました。

④北米

他の地域と同様に自動車生産が増加したことによりダイカスト用油剤等特殊潤滑油は増収となりました。注力製品である少量塗布型ダイカスト離型剤の拡販も順調に推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は623百万円（前年同期比35.5%増）となり、セグメント利益は101百万円（前年同期比153.5%増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、国内外における自動車生産の回復等を背景に堅調に推移しました。第4四半期連結会計期間の業績についても堅調に推移するものと見込んでおりますが、部品や原材料の供給制約や価格高騰の影響は当面続く見通しであり、オミクロン株の出現が経済活動に及ぼす影響も不透明な状況です。このような状況が当社グループの今後の業績に及ぼす影響はただいま精査中です。従いまして2021年10月13日に公表した2022年2月期通期連結業績予想は、現時点においては据え置きますが、今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,108	4,090
受取手形及び売掛金	6,643	6,800
商品及び製品	2,524	2,739
原材料及び貯蔵品	1,718	2,304
その他	338	368
貸倒引当金	△27	△26
流動資産合計	15,304	16,276
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,552	3,377
機械装置及び運搬具(純額)	1,804	1,636
土地	2,422	1,951
その他(純額)	741	990
有形固定資産合計	8,518	7,954
無形固定資産		
のれん	347	251
その他	445	421
無形固定資産合計	792	672
投資その他の資産	3,093	3,320
固定資産合計	12,403	11,947
資産合計	27,707	28,223
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,975	4,151
短期借入金	2,544	553
未払法人税等	109	712
賞与引当金	441	277
その他	1,052	1,464
流動負債合計	8,121	7,157
固定負債		
長期借入金	775	430
退職給付に係る負債	494	517
その他	155	74
固定負債合計	1,424	1,020
負債合計	9,545	8,178
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,976	1,976
利益剰余金	12,132	13,440
自己株式	△390	△384
株主資本合計	15,836	17,150
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	32
為替換算調整勘定	△117	250
退職給付に係る調整累計額	152	155
その他の包括利益累計額合計	63	436
非支配株主持分	2,264	2,460
純資産合計	18,163	20,046
負債純資産合計	27,707	28,223

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
売上高	17,968	20,415
売上原価	12,155	13,643
売上総利益	5,813	6,772
販売費及び一般管理費	5,172	5,397
営業利益	641	1,375
営業外収益		
受取利息	18	21
受取配当金	11	10
為替差益	—	161
持分法による投資利益	138	126
その他	37	62
営業外収益合計	204	380
営業外費用		
支払利息	11	14
為替差損	159	—
その他	20	9
営業外費用合計	190	23
経常利益	656	1,732
特別利益		
固定資産売却益	—	833
特別利益合計	—	833
特別損失		
減損損失	20	—
特別損失合計	20	—
税金等調整前四半期純利益	636	2,565
法人税、住民税及び事業税	323	883
法人税等調整額	△86	△198
法人税等合計	237	685
四半期純利益	399	1,880
非支配株主に帰属する四半期純利益	96	150
親会社株主に帰属する四半期純利益	303	1,730

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
四半期純利益	399	1,880
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4	10
為替換算調整勘定	△314	417
退職給付に係る調整額	13	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	32
その他の包括利益合計	△309	462
四半期包括利益	90	2,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91	2,104
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	238

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,807	2,042	2,667	452	17,968	—	17,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高	677	227	16	8	928	△928	—
計	13,484	2,269	2,684	460	18,896	△928	17,968
セグメント利益	381	215	3	40	640	2	641

(注)1. セグメント利益の調整額2百万円には、セグメント間取引消去10百万円、たな卸資産の調整額△8百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、将来使用見込みのない固定資産の減損損失20百万円を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	13,843	2,612	3,345	615	20,415	—	20,415
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,032	245	199	8	1,484	△1,484	—
計	14,875	2,857	3,544	623	21,899	△1,484	20,415
セグメント利益	837	327	102	101	1,367	7	1,375

(注)1. セグメント利益の調整額7百万円には、セグメント間取引消去12百万円、たな卸資産の調整額△4百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年11月30日)

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年四半期比(%)
化学品事業	20,407	113.8%
特殊潤滑油	9,687	127.2%
合成潤滑油	1,529	107.0%
素材	2,579	102.6%
ホットメルト接着剤	5,086	100.5%
エネルギーデバイス材料	198	249.4%
その他	1,328	107.8%
賃貸ビル事業	8	21.1%
合計	20,415	113.6%

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年11月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高(百万円)	6,985	735	104	7,825
II. 連結売上高(百万円)				20,415
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	34.2%	3.6%	0.5%	38.3%

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール、インド

北米……………米国、メキシコ

その他……………アラブ首長国連邦、オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。